

BASE Vol.67

実践的基礎知識 月次レポート編(3)

< 基準価額の変動要因分解(株式編、債券編、バランス編) >

2018/03/29

基準価額の変動要因分解(株式編、債券編、バランス編)

前回のBASE vol.66 月次レポート編(2)でも触れましたが、投資信託のパフォーマンスを正確に把握するためには、基準価額がどのくらい変動したのかということだけでなく、その内訳も重要になります。株式・債券編とバランス編に分けてご説明します。

株式・債券編

外貨建の株式や債券を主な投資対象とする投資信託の基準価額変動要因は、投資対象そのもの(株式・債券)のリターンと、為替の変動要因に分けることができます。こうした投資信託のパフォーマンスを考える上で重要なことは、投資対象そのものがしっかりとリターンを産み出しているかどうか、今後それが期待できるかどうかです。(図表1,2)

図表1: (株式編) 基準価額の主な変動要因月報記載例

[ご参考] 基準価額変動の内訳

	17年12月	18年01月	18年02月	設定来
基準価額	3,764円	3,543円	3,371円	3,371円
変動額	-164円	-221円	-172円	-6,629円
うち 株式 ★	-160円	-99円	-55円	+6,071円
為替	+50円	-68円	-64円	-700円
分配金	-50円	-50円	-50円	10,980円
その他	-4円	-4円	-3円	-1,020円

図表2 (債券編) 基準価額の主な変動要因月報記載例

[ご参考] 基準価額変動の内訳

	17年12月	18年01月	18年02月	設定来
基準価額	3,164円	3,137円	3,042円	3,042円
変動額	-16円	-27円	-95円	-6,958円
うち 債券 ★	+1円	+13円	+3円	+4,518円
為替	+36円	-7円	-66円	-3,036円
分配金	-50円	-30円	-30円	-7,770円
その他	-3円	-3円	-3円	-670円

- ① 投資対象そのものリターン(★)がどうだったかをチェックします。
- ② 円換算のリターンを考える場合、為替の影響を受けます。したがって、為替がどの程度変化したのか確認する必要があります。また為替は中長期的な運用において、行ったり来たりするもの考えると良いでしょう。

当資料をご利用にあたっての注意事項等

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。

バランス編

複数の資産に分散投資を行っているバランスファンドの場合は、それぞれの投資対象のリターンと共に、各資産の投資比率をチェックすることも重要です。また、最近では為替リスクをコントロールするファンドも増えてきていますので、円資産の比率も確認しましょう。(図表3)

図表3: (バランス編) 基準価額の主な変動要因月報記載例

[ご参考] 基準価額変動の内訳

	18年01月	18年02月	設定来
基準価額	9,412円	9,217円	9,217円
変動額	+0円	-195円	-783円
うち 債券 ★	-31円	-17円	+795円
株式 ★	+140円	-75円	+1,373円
金 ★	+1円	-10円	-20円
為替	-67円	-52円	+88円
分配金	-30円	-30円	-2,130円
その他	-13円	-11円	-890円

投資対象別構成比

投資対象	当月末 構成比	前月末 構成比	増減
債券	49.5%	53.4%	-3.9%
株式	39.2%	37.7%	+1.5%
金	3.7%	3.7%	+0.0%
キャッシュ・短期金融商品等	7.5%	5.2%	+2.3%
合計	100.0%	100.0%	-

円資産の比率	当月末	前月末	増減
円資産の合計	65.5%	68.9%	-3.4%
(うち 円建て資産)	11.6%	12.0%	-0.4%
(うち 為替ヘッジ比率)	49.0%	54.7%	-5.7%
外貨建て資産	34.5%	31.1%	+3.4%
合計	100.0%	100.0%	-

- ① 様々な資産に分散投資を行っているバランスファンドにおいては、投資先の資産のリターン(★)と各資産の投資比率(■)を確認します。
- ② 円資産の比率も確認します。為替は中長期的な運用においては、行ったり来たりするもの考えると良いでしょう。